

## IPC 公認 2014 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要項

- 1 目的 障がい者の水泳競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高いレベルの競技会を開催し、国内の水泳競技への志向意欲をより高めるとともに、広く社会参加の促進に資することを目的とする。
- 2 大会名 2014 ジャパンパラ水泳競技大会
- 3 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
- 4 共催 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟  
日本ろう者水泳協会 大阪府障がい者スポーツ振興協会
- 5 主管 一般財団法人大阪水泳協会
- 6 後援  
予定 厚生労働省 文部科学省 大阪府 大阪市 門真市 大阪府市長会 大阪府町村長会  
大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 門真市教育委員会 公益財団法人日本体育協会  
公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟 日本障がい者水泳協会  
一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟  
全国聾学校体育連盟 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
- 7 JPC オフィシャルパートナー  
日本航空株式会社 JA共済連 トラスコ中山株式会社 西濃シエンカー株式会社  
田中貴金属グループ 東京ガス株式会社 中外製薬株式会社 トヨタ自動車株式会社  
フジッコ株式会社 三菱商事株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 8 JPC オフィシャルサポーター  
カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社 株式会社富士住建  
株式会社グロリアアツアーズ 株式会社 JTB コーポレートセールス 大塚製薬株式会社  
ビタカイン製薬株式会社 株式会社シーエーシー 株式会社福祉施設共済会  
株式会社アルファテック・パシフィック 全労済 株式会社ティーガイア 株式会社コメ兵  
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社 葉隠勇進株式会社  
住友金属鉱山株式会社 株式会社ベネクス 株式会社エアウィーヴ
- 9 協力  
予定 大阪市障がい者スポーツセンター・スポーツ振興部 大阪府立障がい者交流促進センター  
大阪障害者スポーツ指導者協議会
- 10 期間 平成 26 年 7 月 20 日(日)~21 日(月・祝) (19 日(土)クラス分け・練習)
- 11 会場 大阪府立門真スポーツセンター なみはやドーム(50mメインプール)  
大阪府門真市三ツ島 3 丁目 7 番 16 号 Tel 072-881-3715
- 12 実施種目 別紙「実施種目及び標準記録一覧表」による。

### 13 参加資格・制限

身体障がい者については、次の(1)～(3)の条件を満たす者、または(4)、(5)に該当する者。知的障がい者については、(1)及び(6)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。聴覚障がい者については(1)及び(7)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者で、2014 年度(一社)日本身体障がい者水泳連盟または(一社)日本知的障害者水泳連盟、日本ろう者水泳協会に選手登録をしている者
- (2) 身体障がい者については、次の競技会のいずれかにおいて 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
  - ・平成 25 年度 第 13 回全国障害者スポーツ大会(東京大会) 第 30 回日本身体障がい者水泳選手権大会  
2013 年度に開催された IPC 公認大会(静岡記録会を含む、2013JP は含まない)
  - ・平成 26 年度 第 28 回関東身体障害者水泳選手権大会 第 21 回中部障がい者水泳選手権大会  
第 25 回近畿身体障害者水泳選手権大会 第 24 回東北障害者選手権水泳競技大会  
第 20 回中国四国身体障害者水泳選手権大会 第 25 回九州身体障害者水泳選手権大会  
IPC公認大会
- (3) 身体障がい者については IPC の規則に基づくクラス分け(肢体不自由・視覚障害)が済まされていること。  
(国際大会に出場した選手、FCS クラス分けを受けた選手以外はクラス分けが済まされていないものとして扱う。)
- (4) 身体障がい者について、大会当日 19 歳以下の選手で別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達していない者については、50m自由形(予選)のみオープン種目として参加できる。ただし、その出場資格は第30回日本身体障害者水泳選手権大会の標準記録を達成したものとする。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (5) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会から推薦を受けた者。
- (6) 知的障がい者については、次のいずれかの競技会において、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している種目に 2 種目まで参加できる。また、平成 26 年度 INAS・IPC 選手登録者は、標準記録に達している種目に 4 種目まで参加できる。
  - ・平成 25 年度 第 30 回日本身体障がい者水泳選手権大会 第 13 回全国障害者スポーツ大会(東京大会)  
第 16 回日本知的障害者水泳短水路大会 第 3 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会  
平成 25 年度春季静岡水泳記録会 2013INAS 世界水泳選手権大会  
2013IPC 世界水泳選手権大会 アジアユースパラゲームス
  - ・平成 26 年度 第 21 回中部障がい者水泳選手権大会 第 17 回日本知的障害者水泳選手権大会  
IPC 公認大会
- (7) 聴覚障がい者については、次のいずれかの競技会もしくは(2)の競技会において 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者
  - ・平成 25 年度 第 7 回日本ろう者水泳選手権大会
  - ・平成 26 年度 日本マスターズ水泳短水路大会(6 月 10 日以前の大会)

※ 聴覚障がい者について 50mバタフライ、50m背泳ぎ、50m平泳ぎは予選のみオープン種目として参加できる。  
出場者は他の種目で標準記録を突破している者に限る。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (8) 1 人 4 種目以内とする。(知的障がい者は(6)を参照すること)  
ただし、インチョン2014アジアパラ標準記録挑戦のため、種目数を増やす場合は、事前に申し出ること。  
なお、傷病または不測の事態等の正当な理由なく棄権することは認められないので注意すること

### 14 競技方法

午前の部(予選)はマルチ方式(エントリータイム順)で競技を行い、世界新記録との比較でトップの選手に記念品を贈呈する。午前の部で、同種目同クラスで 8 位以内の選手はクラス別レース(決勝)に出場できる。

### 15 競技規則

S1～S14 は IPC 水泳競技規則による。

その他の障害はFINAIに準拠した日本水泳連盟競泳競技規則による。

## 16 申込方法

別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、参加料を添えて下記に申し込むこと。

- (1) 申込み締切り期日 平成 26 年 6 月 20 日(金)必着
- (2) 申込み先 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6 常和水天宮ビル 3F

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 2014JP水泳大会事務局

- ※ 申込書は必ず郵送すること。
- ※ 参加料は必ず申込時に納入すること。また、一旦納入された参加料は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原則として返金しない。
- ※ 「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は、申込みを受け付けない。
- ※ 出場の可否については、6月27日頃に書面により通知する。6月30日までに通知が届かない場合は事務局まで連絡すること。

## 17 参加料 一人 3,000 円とする。(現金書留・郵便小為替・銀行振り込みにて、申込み時に納入すること)

- ※ 銀行振込については、振込者名を選手本人名とし、多数の選手分を振込む場合等は、その旨を申込書に記載すること。

振込先口座:	みずほ銀行 小舟町支店(店番号 105) 普通口座 1285022
口座名義:	公益財団法人日本障害者スポーツ協会ジャパラロ
フリガナ:	ザイ)ニホンシヨウガイシヤスポーツキョウカイジャパラグチ

## 18 クラス分け

- (1) ステータス「L」の肢体不自由の選手と視覚障害の選手はクラス分けを受けなければならない。ステータス「JR」で見直し年が 2014 年までの肢体不自由の選手はクラス分けを受けなければならない。その他、日本身体障がい者水泳連盟より連絡のある選手はクラス分けを受けなければならない。尚、時間調整は困難なので、クラス分け受検者は、必ず 19 日の以下の時間を確保しておくこと。※時間の変更は原則認めない。

クラス分けの詳細については別途日本身体障がい者水泳連盟より連絡する。

- ① 肢体不自由 7 月 19 日(土)10 時～18 時(予定)
- ② 視覚障害 7 月 19 日(土)午後(予定)

- (2) 会場:大阪府立門真スポーツセンター なみはやドーム

## 19 ドーピング検査 (以下、JADA からの注意喚起文による)

- 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。参加者は、競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
- また、未成年者である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
- 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった等の場合、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

(注)選手の事情で検査時間が延長したために、予定した交通機関を利用できなくなった場合の費用負担は、日本アンチ・ドーピング機構、および大会主催者で対応することが出来ないため、移動チケット等の手配の際には十分注意すること。

## 20 表彰

- (1) 男女別種目別に1位、2位及び3位の選手にメダルを授与する。ただし、**参加選手**が2名の種目は1位のみ、3名の種目は2位までにメダルを授与する。オープン競技にはメダルは授与しない。
- (2) 参加者全員(オープン種目を含む)に記録証を発行する。

## 21 競技日程(予定)

平成26年7月19日(土)	クラス分け 練習	
平成26年7月20日(日)	開会式 10時	競技開始 10時45分
平成26年7月21日(月・祝)	競技開始 10時	閉会式 16時(予定)

### 競技順序

7月20日(日)			7月21日(月祝)		
午前の部(予選)			午前の部(予選)		
1	女子	400m自由形	25	女子	200m自由形
2	男子	400m自由形	26	男子	200m自由形
3	女子	50mバタフライ(聴覚OP含む)	27	女子	100m背泳ぎ
4	男子	50mバタフライ(聴覚OP含む)	28	男子	100m背泳ぎ
5	女子	100mバタフライ	29	女子	50m背泳ぎ(聴覚OP含む)
6	男子	100mバタフライ	30	男子	50m背泳ぎ(聴覚OP含む)
7	女子	200m個人メドレー	31	女子	50m平泳ぎ(聴覚OP含む)
8	男子	200m個人メドレー	32	男子	50m平泳ぎ(聴覚OP含む)
9	女子	150m個人メドレー	33	女子	100m平泳ぎ
10	男子	150m個人メドレー	34	男子	100m平泳ぎ
11	女子	50m自由形(OP含む)	35	女子	100m自由形
12	男子	50m自由形(OP含む)	36	男子	100m自由形
午後の部(決勝)			午後の部(決勝)		
13	女子	400m自由形	37	女子	200m自由形
14	男子	400m自由形	38	男子	200m自由形
15	女子	50mバタフライ	39	女子	100m背泳ぎ
16	男子	50mバタフライ	40	男子	100m背泳ぎ
17	女子	100mバタフライ	41	女子	50m背泳ぎ
18	男子	100mバタフライ	42	男子	50m背泳ぎ
19	女子	200m個人メドレー	43	女子	50m平泳ぎ
20	男子	200m個人メドレー	44	男子	50m平泳ぎ
21	女子	150m個人メドレー	45	女子	100m平泳ぎ
22	男子	150m個人メドレー	46	男子	100m平泳ぎ
23	女子	50m自由形	47	女子	100m自由形
24	男子	50m自由形	48	男子	100m自由形

## 21 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

## 22 傷害保険への加入について

主催者において期間中(平成26年7月19日～21日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円、通院3,000円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

## 23 競技に関する情報

- (1) 本大会は IPC Swimming 公認大会として実施する。
- (2) IPC Swimmingライセンス登録及び国際クラス分けが終了している選手の記録はIPC公認記録となる。
- (3) 本大会の水着に関する規程は、原則としてすべてFINA及びIPCの競技規則による。
- (4) プール内の室温は30度位、水温28度位、プールの水深は2mとする。
- (5) 競技会場の練習は次の通りとする。

7月19日(土)	メインプール	13時から18時
7月20日(日)・21日(月祝)	メインプール	9時から9時40分・昼食時間
	飛び込みプール	9時から17時

※飛び込みプール 25mは、開会式及び閉会式を除き常時利用できる。

- (6) 受付時間は次のとおりとする。

7月19日(土)	12:30~17:00	1階更衣室前	
7月20日(日)	8:30~10:00	1階更衣室前	10:00以降 2階総合受付
7月21日(月祝)	8:30~10:00	1階更衣室前	10:00以降 2階総合受付

※20日と21日の会場開館は、選手・関係者のみ 8:30、一般・観客等は 9:00 となる。

- (7) 本大会の予選について、選手の名前やコースはあらかじめプログラムに記載されている。決勝については予選終了後に選手の名前やコースなどを、2階総合受付とプール入り口に掲示する。  
競技は原則として、女子・男子の順にクラス番号順に行う。
- (8) 招集は、競技予定時刻の20分前に行う。棄権の場合は、招集時間の1時間前までに、決勝を棄権する場合は予選終了後1時間以内に、それぞれ招集員に届けること。また、他の種目出場等の理由により、時間に間に合わない場合も必ず届出を提出すること。
- (9) 手話通訳者は、招集と表彰場所に配置する。
- (10) 本大会の記録、氏名、付与されたクラス、特記事項などは協会及び連盟ホームページなどに掲載する。

## 24 その他

- (1) 本大会の成績は今後の国際大会日本代表選手の参考資料とする。
- (2) 大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (3) なみはやドーム駐車場について
  - ・障がい者の使用は無料(なみはやドーム受付に障害者手帳の提示が必要)
  - ・使用料金:1時間 360円
- (4) 宿泊については、主催者(日本障がい者スポーツ協会)より斡旋する。希望者は別紙「宿泊案内」を参照のうえ、「宿泊申込書」に必要事項を記載し、期日までに申し込むこと。
- (5) 問い合わせは下記とするが全てFAXによること。FAXの宛名は「2014JP水泳大会」とすること。
  - ①競技関係 (各自登録している団体へ問い合わせること)
    - (一社)日本身体障がい者水泳連盟 078-855-6621(担当:猪飼)
    - (一社)日本身体障がい者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること
    - (一社)日本知的障害者水泳連盟 03-3615-5584(担当:及川)
    - 日本ろう者水泳協会 075-574-3071(担当:豊田)
  - ②宿泊関係 JTBコーポレートセールス法人営業 03-5909-8100(担当:大塚)
  - ③その他 日本障がい者スポーツ協会 03-5641-1213(担当:長谷部)

本大会の申し込み要項は、日本障がい者スポーツ協会ホームページからダウンロードすることができます。<http://www.jsad.or.jp/news/category/cat032014.html>